

支援部だより

No. 3

令和8年8月26日
宮城県立金成支援学校
支 援 部

学校間交流学習（栗駒小学校）

6月3日（水）に、栗駒小学校の4年生との交流を行いました。栗駒小学校の児童は読み聞かせや宝探し、手作りわなげなど、自分たちで考えてきた遊びを通して支援学校の児童と交流を深めました。交流後は、「知らない自分たちにも、仲よく進んで話し掛けてくれました。」「人は少ないけれど、助け合って活動をしていたのが素敵だと思いました。」「金成支援学校の人たちは、みんな思いやりの心があると思いました。」「場所が分からなかったときに、金成支援学校のみんなが教えてくれました。」「金成支援学校の雰囲気が良かったです。」など、発見したことや分かったことを伝えてくれました。また、「パラバルーンでみんなで遊べて楽しかった。」「お祭りごっこやバンブーリレーと一緒にできて楽しかった。」「少しの時間だったけど、すごく楽しかった。」「椅子取りゲームとパラバルーンは思い出の一つになって楽しかったです。」などの感想もありました。担任の先生からは、「かかわりの中で、子ども達が金成支援学校の児童に優しく声を掛けていたり、活動しやすいように考えて道具を手渡ししていたりと、普段見られない姿を見ることができ、それが大きな収穫だった。」と感想を頂きました。良い交流となり良かったです。



小学部・中学部・高等部体験学習会

7月1日（水）に小・中学部、7月10日（金）に高等部の体験学習会がありました。先月行われた学校見学会で金成支援学校に興味を持った栗原市内の園児、児童、生徒が実際にクラスに入って、支援学校の学習を実際に体験するものです。小学部では、「学年合同遊び」に、中学部では、「作業学習（陶芸と手工芸）」に、高等部では、「作業学習（園芸、木工、陶芸、手工芸）」に参加しました。どのお子さんも真剣な表情で学習に取り組んでいました。

